



2020年12月18日

各位

デンカ株式会社

CDP2020「気候変動」において「A-」、「水セキュリティ」において「B」評価を獲得

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山本 学）は、2020年12月8日に発表されたCDP2020のスコアにおいて「気候変動」で「A-（A マイナス）」、「水セキュリティ」で「B」評価を獲得しました。

CDP（本部：ロンドン）は、2000年に世界の機関投資家が連携して設立した国際NGOです。世界の主要企業に対して「気候変動」「水セキュリティ」「フォレスト」に関する質問票を送付し、環境情報開示の透明性や経営の関与を評価した結果を公表しています。当社は「気候変動」については2015年より、「水セキュリティ」については2019年より回答を継続しております。今回の調査では、気候変動については、温室効果ガスの排出削減に係る中長期目標を策定し、その実現に向けた第一歩として高効率ガスタービン導入等の施策に取り組んでいる点、また水セキュリティについては、自家水力発電所の増設によりクリーンエネルギーの拡大に努めている点が評価されました。

当社は「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同を本年9月14日に表明いたしました。

国際的な枠組みに基づく気候変動対策の推進を最重要課題のひとつとして捉え、日本政府の目標に沿った2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを進めると共に、その進捗等に関して積極的かつタイムリーな情報開示に努めてまいります。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511